

第15回ヒューマンライツセミナー

『優しい』は だれかと寄り添って 生まれる

— 虐待のなかを生きて —



両親の離婚、再婚、養護施設での生活、継母だけでなく実父からも壮絶な虐待を受けたー

そんな経験をしながらも、常に前向きに「経験こそ財産なり」をモットーに、現在の日本がかかえる問題に少しでも解決の糸口を見出したいと願い、高齢者介護と自閉症の実子の子育てのなか、代表を務める会社は「児童虐待防止オレンジリボン運動」の支援企業となり、さまざまな分野で活躍中の島田妙子さん。

島田さんに、実体験をもとに、体験したからこそ伝えられる「いのち」「愛」「子育て」「障害」「介護」のお話をさせていただきます。

とき

12月16日(日)

11:00 ~ 12:30

(開場 10:30)

入場無料
手話・託児あり

ところ

とりぎん文化会館

第1会議室 (鳥取市尚徳町 101-5)

講師／島田 妙子さんプロフィール

株式会社イージェット代表取締役

一般財団法人児童虐待防止機構 理事長

4歳のころ、両親の離婚で兄二人と児童養護施設に入所。

7歳の時、父の再婚で家庭に復帰したが、そこで継母と実父による壮絶な虐待がはじまり、何度も命をおとしかけた。

中学卒業後、持ち前のバイタリティで道を切り拓き、映像制作会社に入社。現在は関西の約100園の学校・幼稚園・保育園の『想い出のアルバム』DVDの制作会社を経営。

兄の他界を転機に、本当の意味での「児童虐待の防止」にむけて自叙伝『e love smile ～いい愛の笑顔を～』を執筆するとともに、「大人の心を助ける」講演活動を積極的に行っている。

◆ 手話通訳・託児の申し込みは、11月30日(金)までに、下記問合せ先にお申し込みください。

問合せ先

(財)鳥取市人権情報センター (鳥取市幸町 151)

TEL 0857-24-3125 FAX 0857-24-3444 メール info@tottori-jinken-joho-center.or.jp

どんなお話が聴けるのか、 これまでの講演会参加者の声をご紹介します！

- 虐待している親と接する時「今日は何かしていない？」と監視するような気持ちになってしまっていました。寄り添って褒めて支えられるようにしていきたいです。自分自身も「くれない病」にならないように前向きに生きていきたいです。「保健師として」というより「人間として」感動しました。

(保健師)

- 実体験に基づくお話を聞かせて頂き、虐待する親の気持ちや、それでも親への子どもの気持ちがストレートに伝わってきた。「私ばかりがしてあげている」、「してくれない、くれない」ではなく自分の気持ち次第。ちょっとずつですが、シンプルに生きていけるように変わっていこうと思いました。

(匿名希望)

- 恨んだり憎んだりすること、し続けることもその人の選択だと思う一方で、それは周りから見ると辛そうでしんどそうで、できたらその重荷を（心根にある石ころ）出せたらいいのにと感じてきましたが、今日改めて強くそう思いました。そして自分がどう生きるべきか、人とどう接していくか、そして発信していくかについて温かい眼差しをいかに実践していくかをしっかり考え行動して行きたいと思います。とても力強く優しい後押しを下さったと感じました。有難うございました。

(弁護士)

- しつけの話、愛の話など具体的で心に響く命の言葉、有難うございます。虐待問題を最初に感じた原点を思い出しました。一步一步、人のために役立つ課題を見つけ頑張りたいと思います。

(報道関係)

- 虐待は連鎖するという事が常識だと思っていたので、今日話を聞いて考えが変わった。虐待に限らず、人として人と付き合う事の大切な心情というものを教えて頂けたような気がします。

(司法関係)

- 施設職員として子どもが受ける愛情の大切さ、虐待をしてしまう親へのケアについて大変いいお話を聞く事ができました。今、私が働く施設では幼少期に愛情を十分に受ける事ができず、大人への不信感を抱いた子どもが沢山います。出来る限りの愛情を注げるよう日々努めようと感じさせられました。

(匿名希望)